

父嚴母愛兒樂・三角同盟之地。

不文律を以て統治する一國家。

家庭には愛の光の照り渡り

年から年中闇の世はなし。

我が庭は世の浮雲の影もなく

愛の光をあびてたのしむ。

この自然のあたゝかき

慈悲の心にいだかれて

又

山はかすみて何笑ふ

川は流れて何かたる

千歳をちがる桃の村

朽ぬ姿の松村

こゝわがすめる古きさと

故郷

雨峰

生

婦人と親族法

太田英隆

緒言

ある貴婦人と話をしましたときに、其婦人が『人は幾歳に達したら婚姻をすることが出来るか、又は旅より旅の苦を忘れ

筑波の山を仰ぎ見る

わが古里の春の色

心かよわきわが身しも

天のうたけに醉されて

今日も一日をくらすかな

旅より旅の苦を忘れ